



## 1995年度学術大会および総会のお知らせ

会 期：1995年6月17日(土)～18日(日)	費 用：大会参加費	1,000円(学生 500円)
会 場：日本大学文理学部(世田谷区桜上水3-25-40) Tel 03-3329-1151	予稿集代	1,500円
	懇親会	5,000円
日 程：6月17日(土) 9時30分～		
シンポジウム, 一般研究発表, 総会, 懇親会		
6月18日(日) 9時30分～17時		
一般研究発表		

**編集後記：**阪神大震災に遭遇され被害を受けられた会員の方々には心からお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈り致しております。秋季大会は大阪で開催の予定ですが、その折には皆様のお元気な姿に接することが出来るものと期待しております。

今回の未曾有の大災害を前にして、自然現象の奥深さと人間の理解の未熟さ、致らなさを思い知らされています。防災を業務とする官庁に勤務する者として、今回の大災害の経験を、今後の防災業務の企画立案・実施に生かせたらと考えております。

さて、河村前委員長から編集を引き継ぎ、1990年9月より約4年半にわたって編集委員長を勤めてまいりましたが、このたび都合により3月末で委員長を退任させていただくことになりました。この期間、印刷の電算写植化、表紙デザインの変更、「カラーページ」や「1990年代の気象学への手引」などの新企画の開始、1982年から11年間の主要記事の項目別および著者別索引の作成、IAMAP・IAHS'93特集号の発刊など、思い出に残る多くの仕事を行うことができました。これも

ひとえに編集委員各位の献身的な努力と会員の皆様の温かいご支援の賜と感謝しております。

委員長をお引き受けした当時、あれもしたいこれもしたいといろいろな企画を考えておりながら、手つかずのままに残ってしまったことも数多くあります。また、毎月の内容に関しましては校正ミスや編集上の不備で、著者や読者の皆様にご迷惑をおかけしたことも多々ありました。関係者の皆様にはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

4月からは関口理郎理事が編集委員長に就任されます。私も編集担当理事としていましばらくは編集のお手伝いをさせていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後に、編集の雑務をしていただいた編集委員会書記の大井戸和子さん、編集活動に種々のご援助を頂いた学会事務局の伊藤、島津、松野の各氏と前事務局の木村氏にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

(藤谷 徳之助)